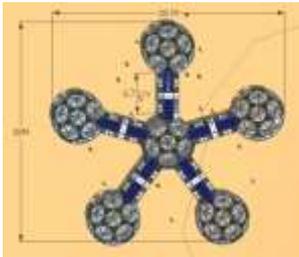


名称	Solar54		
国籍及び場所	アルゼンチン、ラ・リオハ州ロスコロラドス		
開発機関	ラ・リオハ州（その他プロジェクト参加機関：アルゼンチン宇宙活動委員会、Argentine Investment and Trade Promotion Agency、ラ・リオハ大学、SmartCultiva、FANIOT、National Technological University、アルゼンチン公共事業省、Aerospace Technology Center、Agencia IDi、アルゼンチン科学技術革新省、ラ・リオハ国立大学、アルゼンチン外務省、アルゼンチン火星協会）		
運用機関	運用開始前		
施設カテゴリー	<input checked="" type="checkbox"/> ヒューマンファクター・ <input type="checkbox"/> ハードウェアシミュレーション		
体験可能な危険状態	<input type="checkbox"/> 船外活動・ <input type="checkbox"/> 隔離・ <input type="checkbox"/> 通信遅延・ <input type="checkbox"/> 明暗周期・ <input type="checkbox"/> 地球からの距離・ <input type="checkbox"/> 精神的ストレス・ <input type="checkbox"/> 重力		
施設概要 （開発年、規模、特徴等）	将来の火星探査に向けて火星での“crops + life”の環境や技術を模擬するための施設。全長38m、5つのドームが中央のドームにつながるような形をしている。建物は現地の土を原料として使用し、自動化して建設される予定。2021年1月よりプロジェクト開始。		
施設関連画像			
	<ol style="list-style-type: none"> 1) 火星環境研究エリア 2) 屋内水耕栽培エリア 3) レクリエーションエリア 4) キューブサット開発エリア 5) 居住エリア 6) 中央アクセスエリア+ダイニングルーム 		
実施されたプログラム/ミッション	<p>（2022年4月現在、開発中）</p> <p>開発スケジュール</p> <p>2021年 9月 各専門分野の公募</p> <p>2021年10月 公募の決定</p> <p>2021年12月 建設開始 ※2021年12月時点、プロジェクトマネージャーAyelenからのメールより、翌年建設を開始する予定とのこと。</p>		
参照資料	<p>http://www.solar54.com/demo/proyecto_solar54_la_rioja</p> <p>https://twitter.com/solar541</p> <p>https://www.facebook.com/Solar54.Argentina/</p> <p>https://www.youtube.com/watch?v=at5RxB3R-n4</p>		